

## 片山 泉さん

### 1 はじめに

2015年12月20日、長かった中小企業診断士の受験生活がようやく終わりました。2009年合格を目指して学習を始めてから、7年間かかりました。2015年の合格発表の日、自分の番号を見つけ、嬉しいという気持ちよりも、ホッとした気持ちでいっぱいでした。真っ先にMMCに電話で報告し、中居先生が電話の向こうで、大きな声で自分のことのように喜んでくれたことが、とても嬉しかったです。

### 2 受験歴

(某受験校に通学)

- 2009年 一次試験不合格 (情報で足り)
- 2010年 一次試験合格、二次試験不合格 (BBBC→B)
- 2011年 一次試験合格、二次試験不合格 (CABA→B)
- 2012年 一次受験せず、二次試験不合格 (DDDB→B)

(MMCに通学)

- 2013年 一次試験合格、二次試験不合格 (BBDB→C)
- 2014年 一次試験受験せず、二次試験不合格 (CBBA→B)
- 2015年 一次試験合格、二次試験合格 (AAAA)

### 3 二次試験の不合格の敗因

二次試験は6回受験しましたが、不合格の敗因は、一言で言うと、試験の本質を理解できていなかったことだと思います。線の引き方やマーカーの引き方などテクニックの改善ばかりを図っていたこと、問われているのはシンプルなことなのに、学習の期間が長くなると与件を読んで思いつくことも多く、詰め込みすぎの読みにくい文章になっていたこと、差別化を図ろうとキーワードを無理やりに入れ込むことで、与件の活用が不十分になっていたことなどにより、「問われたことに与件を活用して伝えるように素直に書く」という最も重要なことが十分にできていませんでした。

### 4 合格できた要因

長期間の学習の中で、様々な学習方法や解き方を試しましたが、最終的には、以下の2点により合格に繋がったと感じています。

#### (1) 型とマトリクスの徹底

MMCに通学するようになり、徳川先生に「型とマトリクス」による解き方をたたきこまれました。これは、答えを書く前に、書く内容を「型」(設問にどのような文章構造

で答えるか)と「マトリクス」(どの与件とどのキーワードを使うか)でメモするというシンプルな方法なのですが、これにより、書く前に書く内容が整理され、80分間という短時間の中でも効率的にわかりやすい文章が書けるようになりました。正直、長年の学習で、自分なりの解き方が確立しており、新たな解き方に踏み出すのは非常に怖い面もありましたが、「不合格の方法にこだわっていても合格できない」という先生の言葉に奮い立ち、ゼロクリアの気持ちで取り組みました。最初は、なかなかうまくできず、この方法で良いのか半信半疑でしたが、演習で練習を重ねるうちにパターン化できるようになり、最終的には、すべての事例で機械作業的に対応できる魔法の武器になりました。これにより、タイムマネジメントで失敗することもなくなり、本試験でも時間に余裕をもって問題を解くことができました。

## (2) 文章の書き方の改善

演習などで、自分では読みやすいように書いたつもりでも、MMCでは「詰め込みすぎで、意味が伝わりにくい」という点を何度も指摘されました。中居先生から「キーワードや書く内容を減らして、63点ぐらいを確実に取る練習をした方が良い」「100字なら3つ思いついても、1つ減らして2つ書くぐらいの意識でよい」といったご指導をいただき、それまで、漏れのないように盛り込むことで高得点を目指してきた自分にとっては、これもまた、目からウロコの言葉でした。ただ、ここまで来たら、MMCを信じるしかないと思い、キーワードを絞り込み、シンプルに伝えたい内容を確実に書く練習をしました。より読みやすくするため、漢字の多用を避け、句読点や平仮名を意識しながら入れ込む練習も重ねました。書く項目を減らすことは、文字数の余裕にもつながり、結果的に与件の言葉を解答に盛り込みやすくなりました。本試験でも、知識ありきの解答ではなく、与件に沿った解答ができたと思います。

## 5 具体的な学習方法

上記4の精度をあげるため、以下により学習を進めました。

### (1) 設問対応練習

設問を読み、MCサークルのどこを問われているか、型とマトリクス、使用するキーワードの想定を何度も繰り返しました。繰り返すことで、反射的に対応できるようになりました。

### (2) 再答案の提出

自分の解答とMMCの解答を型とマトリクスに分解し、自分の解答で足りない点や、文章が読みにくい部分などを認識し、それらを改善する再答案を作成しました。再答案を作る際には、過去問で同じような問われ方をしている問題を確認するようにし、パターン化をするように心がけました。

### (3) ミスの蓄積、見直し

毎回の演習や模試でミスした内容を、事例ごとにエクセルシートにまとめ、時間が

ある時に何度も読み返していました。同じような間違いを何度もしていることに気が付き、繰り返し見ることで、頭にたたきこみ、ミスを減らすことができました。

## 6 最後に

長年の学習で、演習や模試では継続的に合格圏内を取れるようになる中、本試験では不合格が続き、「いつも通り」に解いているのに、なぜ合格できないのか本当に悩みました。最後の年は、MMCの先生方に言われた「自分を抑える」ということを意識して本試験に取り組みました。本試験を解きながら、与件や設問に自分が引き戻されていることを感じ、これまでの本試験では、「いつも通り」と思いながら、無意識にいつも通りでないことをやっていたんだと初めて気が付きました。その時、改めて、合格に必要なことは、天才的なことではなく、当たり前のことを、わかりやすく書くというシンプルなことに尽きると感じました。そして、MMCでは、それを確実に身につけられると思います。

授業の後にカフェでアドバイスをいただいたり、メールで親身に相談にのっていただいたりなど、MMCの先生方には、最後まで熱心にご指導いただき、心より御礼申し上げます。受験生ごとの課題を見極め、長年の受験で迷路に入ってしまった私に、適切なアドバイスをいただけたことが、合格に繋がったと思います。今後は、この資格を活かして、少しでも社会に役立つことをしていきたいです。本当にありがとうございました。